

人材確保対策を推進

関東塗料工業組合

理事長 篠原 幸治



本紙をご覧の皆様へ
 中お見舞いを申し上げます。

今年の2月以降生じて
 いるホルムス海峽封鎖に

たことのない事態となり
 ました。

この事態に対し、関東
 工として、正確でタイム
 リーな情報の提供、緊急
 アンケートによる組合員
 への影響の把握と共有化
 を行いました。集計結果
 については迅速に組合員
 にフィードバックしただ
 けでなく、日塗工を通じ
 経産省にも提出しまし
 た。さらにテレビの取材
 も受けることにもなりま
 したが、あくまで塗料業
 界の現場で何が起きてい
 るか国民に知ってもらい
 たかったためでした。こ
 の先についても不透明感
 はぬぐえませんが、業界
 の現状把握と情報提供は
 続けていく所存です。

よるさまざまな現象は、
 かつて経験したことな
 い事態であるだけでなく、
 非常に深刻な影響を塗料
 業界にもたらしています。
 塗料やシンナーの供給が
 これほど世間から注目さ
 れたことも初めてであり、
 重要な原料である溶剤の
 供給が一時停止するなど
 現役世代の誰もが経験し

を踏み出しました。昨年
 来ご支援をいただしてい
 る東京しごと財団様の
 「業界団体別人材確保支
 援事業」のひとつとして
 7月2日に開催された人
 材採用に関するセミナー
 に合わせ、人事担当者交
 流会を開催し「他社の人
 材に聞きたいこと」を題材
 に意見交換をしていただ
 きました。今回の参加者
 は7社13名と必ずしも多
 くはありませんでしたが、
 わずか1時間程度という
 短い時間の中でも活発に
 話し合いが行われ大いに
 盛り上がりました。終了
 後のアンケートでもほと
 んどの方が「面白かった」

「また参加したい」と回
 答してくれました。今後
 はさらにこうした「ここ
 ろのよりどころ」活動を
 継続、発展させていきたく
 と考えております。

さらに5月19日に実施
 した大阪塗料工業協同組
 合との交流会につきまし
 ても、初めて中部塗料工
 業会から参加をいただ
 き、今後は三団体交流会
 として実施していくこと
 になりました。大塗協／

関東工は、このほか日常
 的な活動も積極的に進め
 てまいります。今後とも
 より一層のご理解とご協
 力をお願い申し上げます。

先ほど話の出ました東
 京しごと財団様の「業界
 団体別人材確保支援事
 業」では、進行中のプロ
 グラムのひとつに業界P
 R動画の作成がありま
 す。本編5分、短縮
 版1分2分程度のものに
 なりそうですが、11月に
 完成予定です。完成後は
 業界関係者のだれでもが
 使うことができますので、
 完成の折には関係の団体
 様に連絡してご利用をお
 願います。

関東工は、このほか日常
 的な活動も積極的に進め
 てまいります。今後とも
 より一層のご理解とご協
 力をお願い申し上げます。

とはいえこの難局は、
 そのようなことだけでは
 到底打開できるものでは
 なく、組合員の皆様の中
 には大変な苦勞をされ
 ている方もたくさんいら
 っしゃると思います。こ
 うした時にこそ、就任以
 来提唱させていただいて
 いる「こころのよりどころ」
 を組合が提供すべき
 と考え、先日その第一歩